

進路通信あすなろ

2019年7月18日発行
伊丹西高等学校進路指導部
【第03号】



明日で1学期も終わり、夏休みに入ります。長い休暇です。暑いけれど、有意義に過ごして下さい。

1年生へ

いよいよ高校生になって初めての夏休みがやってきます。時間が自由に使える夏休みですが、この夏休みをどのように過ごすかが、今後の高校生活に大きく影響します。今からしっかりと計画を立て、充実した夏休みを送りましょう。



夏休みが明けると文理選択をしなくてはなりません。文理選択は、進路選択の第一歩です。これから進みたい方向がはっきりと見えていない人は、夏休み中に、「どんなことに興味があるのか」「大学で何を学びたいのか」「将来どんな仕事に就きたいのか」など、自分の将来の夢について、保護者の方とともにじっくりと考えてみましょう。

2年生へ

高校生活の折り返し地点が近づいてきました。夏休み明けには、高校生活後半にさしかかり、いよいよ受験へのカウントダウンが始まります。受験に向けて好スタートを切れるように、気持ちを引き締めて夏休みを有意義に過ごしましょう。

時間がある夏休みは、進路についてじっくりと考える良い機会です。まだ進路の方向性を決めていない人は、この夏休みに本やインターネットなどを活用して、いろいろと調べてみましょう。また、夏休みには多くの大学でオープンキャンパスが行われます。積極的に参加して、進路選択の参考にしましょう。



3年生へ

「受験の天王山」と言われる3年生の夏休みが目前に迫ってきました。この夏休みは、受験までにまとまった時間が取れる最後の機会です。得意科目を伸ばし、苦手科目を克服するチャンスですので、事前にしっかりと学習計画を立て、夏休みを有意義に過ごしましょう。

学習計画を立てる際のポイントは、夏休みを ①7月下旬 ②8月上旬 ③8月中旬 ④8月下旬 の4つの時期に分けることです。夏休みに効率的に学習を行うために、時期を区切って学習計画を立てることがポイントです。それぞれの時期に「いつ」「何を」するのかを考え、優先順位をつけて取り組みましょう。



模擬試験について

先週末に模擬試験を終えました。「なかなかできたな」「全然できなかった」「勉強が足りてないな」「時間が余り過ぎた」など様々な感想を持ったと思います。模試は「点数を見てがっかりしたり、喜んだりするもの」ではなく、「復習のためのツール」です。模擬試験を解き終えて、そのままにいませんか？1週間以内に復習すると効果が現れるので、是非この機会に復習を試みましょう。解答解説が配られていると思います。どの学年も1ページ目に「振り返りシート」がっています。活用してみましょう。



進路指導室が引越します

このたび進路指導室が1階から2階に引越しをすることになりました。引越しにあたり、進路指導室は7月27日から8月19日までの間、入室できなくなりますが、進路指導室の赤本や大学発行の過去問題集は特別に、1人5冊まで長期貸し出しを行います。夏休み中に解いてみようと思う人は是非利用してください。



失敗とうまく付き合おう

合否という結果が明確な受験。本番の試験はもちろん、受験生としても、できるだけ失敗は避けたいですね。でも、これから受験までの間、失敗をすべて防ぐことは、まず無理です。勉強は計画通り、模試もA判定を連発…残念ながらそんな受験生はほとんどいません。むしろ、合格する受験生は、失敗を避ける努力をしつつ、失敗と上手に付き合っています。計画が崩れたら、すぐに修正をする。模試の結果が悪かったら、勉強法を見直すきっかけにする。ちょっとしたコツが、最終的な合否を大きく左右するでしょう。



【見逃すと危険!要警戒“失敗フラグ”は?】

- 学習計画を立てていない。 生活が夜型。起床時間が遅い。
 - 起床時間が一定でない。 問題を解いた後、確認や復習に時間を割かない。
 - スマホを10分おきに見ながら勉強している。 ゲームやSNSに誘惑されてしまう。
- どれかに当てはまれば失敗する危険性がグンと上がります。この機会に改善してみましょう。

三者懇談にあたって

夏休みに入ると三者懇談が始まります。1学期の学校での様子や成績などについて話がされるでしょう。また『進路』についても話に出てくるでしょう。有意義な三者懇談になるよう、自分の将来の夢や志望校などを事前におうちの方と話をしておきましょう。

